

※一部非公開

令和5年度入学試験問題（前期日程）

小論文

教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コース

教科教育専攻 生活科学教育専修

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、90分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

資料は、世界経済フォーラム（World Economic Forum：WEF）が2022年7月に公表し、その後内閣府男女共同参画局が国内向けに提示したジェンダーギャップ指数（Gender Gap Index：GGI）の順位です。資料を参考に、以下の各問に答えなさい。

問1 ジェンダーギャップに関する日本における問題を挙げ、その原因についてあなたの考えを述べなさい。（200字程度）

問2 問1で述べた問題の解決に向かうために家庭科の授業ではどのような取り組みができると思うか、あなたの考えを述べなさい。（400字以上、600字以内）

非公開

(男女共同参画局「共同参画 令和4年8月号」<https://www.gender.go.jp/public/kyodosankaku/2022/202208/pdf/202208.pdf>, p.11, 2022/09/12)

ジェンダーギャップ指数(男女格差指数)とは、経済的平等、政治参加、健康と生存、教育機会の4分野14項目の指標から、男女間の格差の度合いを指数にしたもの。値が1に近いほど格差が小さいことを表す。なお、参加国数は、2022年では146カ国、2021年は156カ国である。

令和5年度入学試験問題（前期日程）

小論文

教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コース

教科教育専攻 生活科学教育専修

出題の意図

高等学校家庭科の家族・家庭生活領域において、人の一生を生涯発達の視点でとらえ、青年期の生き方を考えさせるとともに、家族・家庭の意義や家族・家庭と社会とのかかわりについて理解させ、男女が協力して家庭を築くことの重要性について認識させることが求められている。そのことを踏まえ、本出題文は、日本の男女格差についての考え方や授業における取り組みを問うことで、琉球大学のアドミッション・ポリシーに基づく教育学部学校教育教員養成課程の求める学生像である「教員として主体性を持ち、子ども及び社会と関わっていきたい人」「教育の理論と実践を広く深く学ぶ意欲のある人」「高等学校での基礎学力を身につけ、思考力、判断力、表現力を持つ人」に適う人材であるかどうかをみることを意図している。